

# 東京大学 公共政策大学院 STIGガイダンス

## 国際交通政策について

2021年4月5日

担当教員: 宿利 正史、軸丸 真二、大橋 弘

# 交通・観光政策研究ユニット(TTPU)



- 交通・観光政策研究ユニット(Transport and Tourism Policy Research Unit (TTPU))は、2004年に創設された当大学公共政策大学院において、国際交通政策研究ユニット(International Transport Policy Research Unit(ITPU))として、最初に設置された研究ユニット(2005年設置)。

2019年4月より体制を強化し、交通政策に加え、観光政策に関する教育・研究機能を拡充し、ユニット名を交通・観光政策研究ユニットに改正。交通・観光に関する教育・研究活動を精力的に実施している。

## ○所属教職員

- ・大橋 弘 公共政策大学院院長、大学院経済学研究科 教授(ユニット長)
- ・宿利 正史 公共政策大学院 客員教授
- ・佐藤 善信 公共政策大学院 客員教授
- ・軸丸 真二 公共政策大学院 特任教授
- ・三重野 真代 公共政策大学院 特任准教授
- ・木村 恵美 公共政策大学院 事務職員

## ○授業日時

火曜日第5限(16時50分～18時35分)。ただし、現地視察を伴う第5講(5月11日)、第7講(6月1日)及び第9講(6月15日)の日程の詳細については、授業において連絡します。

## ○授業形式

国際学術総合研究棟4階SMBCホールにおける対面授業とオンライン授業の併用。対面授業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から各回20名まで。

※オンライン授業URL:

※対面授業を希望する受講生は、毎回、授業前日17時までに、  
[ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp)宛てに連絡して下さい。20名を超えた場合には、  
当日12時までに受講生に個別に連絡します。

## ○担当教員

公共政策大学院 宿利客員教授、軸丸特任教授、大橋教授

# 国際交通政策について②

## ○ 科目概要

今日世界は、交通や情報通信技術の発達、市場開放などを背景に、様々な分野でグローバル化が進展する中で、米・中の対立、格差や分断の拡大、地球環境問題などに直面し、一層不確実性を増している。

さらに、昨年初来の新型コロナウイルスのパンデミックは、全世界に大きな影を落とし、グローバル化の流れに大きな打撃を与え、現在なお進行中である。

このような中、パンデミックによる移動制限や厳格な出入国管理により、国際間の旅客交通はかつて無い大幅な需要減に直面し、交通・観光産業の経営に甚大な影響を与えている。また、国際間の物流についても、パンデミックの影響を少なからず受ける国際市場において、新たな対応が求められている。

一方で、コロナ禍の長期化を引き金に、働き方や移動の形態等社会の様々な場面で価値観の転換や行動変容が進みつつあり、最新のデジタル技術等の活用と相俟って、「モビリティ」自体が大きな変革の渦中にある。

こうした状況の下、人口減少と超高齢化が同時進行し、低い経済成長が続く我が国が、今後とも持続的な成長と豊かな国民生活を確保するためには、国際交通分野が、ポストコロナの世界をしっかりと見据えて、国際社会と競争、連携しつつ、重要な役割を果たすことが期待される。同時に、こうした諸課題の克服を可能とする政策対応が急務となっている。

このような観点から、本科目では、我が国の将来を見据えた望ましい「国際交通政策」の在り方について、政策の現状や交通・運輸の実態を踏まえつつ、講義及びディスカッション並びに現地視察(3回)を通じて考察を深める。

## ○授業の方法

国際交通政策に関する分析・立案・実施・評価に必要な総合的能力の養成を図る観点から、国際交通を中心に交通・運輸分野における重要かつ最新の政策課題・トピックについて、行政当局幹部、企業経営者及び研究者による講義及びディスカッションを行う。ディスカッションにおいては、講義内容を理解した上で、多面的な議論を通じて国際交通政策に関する考察を深める。なお、第5講、第7講及び第10講は、それぞれ福岡国際空港、横浜港及び成田国際空港において、現地視察及び現地における講義・ディスカッションを実施する。

# 全体スケジュール

4月6日	イントロダクション 航空政策を巡る環境変化と今後の課題	宿利 正史 公共政策大学院 客員教授 軸丸 真二 公共政策大学院 特任教授 和田 浩一 国土交通省 航空局長
4月13日	ネットワーク産業と経済学	大橋 弘 公共政策大学院 院長、大学院経済学研究科 教授
4月20日	コロナ禍で加速する新たな物流の潮流について ~フィジカルインターネット~	木川 眞 ヤマトホールディングス株式会社 特別顧問
4月27日	交通インフラ海外展開を巡る現状と課題	藤井 直樹 国土交通省 国土交通審議官
5月11日	我が国の港湾政策の現状と展望 (横浜港視察)	高田 昌行 国土交通省 港湾局長
5月18日	交通社会資本としての鉄道整備	森地 茂 政策研究大学院大学 客員教授
6月1日	ポストコロナ時代に空港の果たすべき役割 (成田国際空港視察)	田村 明比古 成田国際空港株式会社 代表取締役社長
6月8日	我が国海外航海運のダイナミズムと今後の展望~定期船事業を核にして~	内藤 忠顕 日本郵船株式会社 取締役会長、一般社団法人日本船主協会 会長
6月15日	空港コンセッションと公共政策 福岡空港の取組み (福岡国際空港視察)	鶴田 浩久 国土交通省航空局 航空ネットワーク部長 永竿 哲哉 福岡国際空港株式会社 代表取締役社長 執行役員
6月22日	国鉄改革とJR ~東海道新幹線から超電導リニアへ~	葛西 敬之 東海旅客鉄道株式会社 名誉会長
6月29日	日立の海外鉄道事業の概況と市場動向の考察	光富 眞哉 株式会社日立製作所 執行役常務、ビルシステムビジネスユニットCEO
7月6日	クルマの進化と未来のモビリティ社会	山本 圭司 トヨタ自動車株式会社 執行役員、コネクティッドカンパニー President
7月13日	アフターコロナにおけるANAグループの持続的成長に向けて	平子 裕志 全日本空輸株式会社 代表取締役社長

# 2020年度の参加学生の所属研究科・学部 TPU

Transport and Tourism Policy Research Unit

所属	3年	4年	M1	M2以上	合計
法学部	1	2			3
経済学部	2	1			3
工学部	1	1			2
法学政治学研究科			0	1	1
経済学研究科経済専攻			1	2	3
総合文化研究科広域科学専攻			1	0	1
工学系研究科社会基盤学専攻			1	9	10
工学系研究科建築学専攻			0	2	2
工学系研究科都市工学専攻			0	8	8
工学系研究科航空宇宙工学専攻			0	1	1
工学系研究科システム創成学専攻			0	1	1
工学系研究科電気系工学専攻			1	0	1
農学生命科学研究科森林科学専攻			1	0	1
農学生命科学研究科水圏生物科学専攻			1	0	1
医学系研究科外科学専攻			0	1	1
新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻			0	2	2
公共政策学教育部公共政策学専攻			4	5	9
[合計]	4	4	10	32	50

明日5限が初回の授業です。  
多くの皆さんの参加をお待ちしています。

ご清聴有難うございました。

